

## 日程表

6月24日（日）

	講演会場（サミットホール）
9	
10	
11	
12	
13	<b>Opening Ceremony</b>
14	<b>ランチョンセミナー1</b> 関節リウマチの免疫フェノタイプと 治療の最適化 座長：田村直人 演者：久保智史 共催：武田薬品工業株式会社
15	<b>会長講演</b> 骨と関節の臨床免疫学 座長：高柳広 演者：田中良哉 共催：株式会社ノエビア
16	<b>特別講演1</b> The relationship between bone loss and inflammatory cytokine in RA 座長：中島友紀 演者：Georg Schett 共催：中外製薬株式会社
17	<b>イブニングセミナー1</b> リウマチ性疾患の病態におけるTNF- $\alpha$ を含むサイトカインの関与 座長：熊ノ郷淳 演者：藤尾圭志 共催：田辺三菱製薬株式会社
18	
19	<b>ポスター SESSION1</b> (ポスター1~7)
20	20:00~ Welcome Reception

6月25日（月）

	講演会場（サミットホール）
9	
10	<b>モーニングセミナー1</b> ビスホスホネートの多彩な作用： 作用機序と臨床疫学からみた可能性 座長：上阪等 演者：竹内靖博 共催：帝人ファーマ株式会社
11	<b>シンポジウム1</b> 治療に迫る「骨免疫」研究 座長：高柳広、竹内勤 演者：戸口田淳也 Cevayir Coban,岡本一男
12	<b>特別講演2</b> The role of RANKL in breast and lung cancer 座長：山本一彦 演者：Josef Penninger 共催：第一三共株式会社
13	<b>ランチョンセミナー2</b> 骨免疫疾患の治療に新風を吹き込む 座長：石井優 演者：田中栄 共催：あゆみ製薬株式会社
14	<b>受賞講演1</b> 座長：田中栄
15	<b>イブニングセミナー2</b> 免疫系による骨の破壊 ～ゴージュ病の骨病変を含めて～ 座長：井田博幸 演者：高柳広 共催：サノフィ株式会社
16	
17	<b>ポスター SESSION2</b> (ポスター8~13)
18	
19	
20	

6月26日（火）

	講演会場（サミットホール）
9	<b>総会</b>
10	<b>モーニングセミナー2</b> 骨粗鬆症の基礎と臨床 座長：長澤丘司 演者：宮本健史 共催：アステラス製薬株式会社
11	<b>シンポジウム2</b> 骨と関節の免疫学治療の新展開に 結びつけることができるか 座長：岡田洋右、熊ノ郷淳 演者：田中栄、山岡邦宏 熊ノ郷淳
12	<b>ランチョンセミナー3</b> 自己免疫疾患とサイトカインシグナル 座長：三森経世 演者：藤尾圭志 共催：日本イーライリリー株式会社
13	<b>受賞講演2</b> 座長：松本俊夫
14	<b>アフタヌーンセミナー</b> 骨免疫におけるケモカインの役割と 治療標的としての可能性 座長：山路健 演者：今井俊夫 共催：エーザイ株式会社
15	<b>Closing Ceremony</b>
16	
17	
18	
19	
20	

## プログラム

### 第1日目 6月24日 (日)

Opening Ceremony 13:00-13:10

ランチョンセミナー 1 13:10-14:10

座長：田村 直人 順天堂大学大学院医学研究科膠原病・リウマチ内科学  
医学部膠原病内科学講座

LS1 関節リウマチの免疫フェノタイプと治療の最適化

久保 智史, 中山田真吾, 田中 良哉  
産業医科大学 医学部 第一内科学講座

共催：武田薬品工業株式会社

会長講演 14:30-15:30

座長：高柳 広 東京大学大学院医学系研究科 免疫学

PL 骨と関節の臨床免疫学

田中 良哉  
産業医科大学医学部第1内科学講座

共催：株式会社ノエビア

特別講演 1 15:50-16:50

座長：中島 友紀 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 分子情報伝達学

SL1 The relationship between bone loss and inflammatory cytokine in RA

Georg Schett  
Department of Internal Medicine 3 Rheumatology and Immunology,  
Friedrich Alexander University Erlangen-Nürnberg, Germany

共催：中外製薬株式会社

## イブニングセミナー 1

17:00-18:00

座長：熊ノ郷 淳 大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学

ES1 リウマチ性疾患の病態における TNF- $\alpha$ を含むサイトカインの関与  
藤尾 圭志

東京大学大学院医学系研究科内科学専攻アレルギー・リウマチ学

共催：田辺三菱製薬株式会社

## ポスター 1

18:10-19:40

幹細胞/骨芽細胞/骨細胞など

座長：山形 薫 産業医科大学医学部第1内科学講座

P1-1 骨芽細胞による脂肪先駆細胞の遺伝子発現制御機構の検討

早津 学, 高澤 遥子, 水谷 祐輔, 三上 剛和, 牛木 辰男  
新潟大学・院医歯・顕微解剖学

P1-2 Analysis of PTH-induced osteoblastic differentiation from BM-MCSs

楊 孟雨<sup>1</sup>, 荒井 敦<sup>2</sup>, 宇田川信之<sup>3</sup>, 平賀 徹<sup>4</sup>,  
小林 泰浩<sup>1</sup>, 高橋 直之<sup>1</sup>, 溝口 利英<sup>5</sup>

<sup>1</sup>松本歯科大学総合歯科医学研究所, <sup>2</sup>松本歯科大学歯科矯正学,

<sup>3</sup>松本歯科大学口腔生化学, <sup>4</sup>松本歯科大学口腔解剖学,

<sup>5</sup>東京歯科大学口腔科学研究センター

P1-3 Dscr1.v2 の発現は骨芽細胞の石灰化を抑制する

笠原 由紀<sup>1,2</sup>, 稲山 雅子<sup>2</sup>, 細道 純<sup>1</sup>, 小野 卓史<sup>1</sup>,  
中浜 健一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東京医科歯科大学 大学院 歯合機能矯正学分野,

<sup>2</sup>東京医科歯科大学 大学院 分子細胞機能学分野

P1-4 造血幹細胞ニッチで特異的に高発現する転写因子 Ebf3 は、骨髓腔の維持に必須である

清家 正成<sup>1</sup>, 尾松 芳樹<sup>1</sup>, 渡邊 仁美<sup>2</sup>, 近藤 玄<sup>2</sup>,  
長澤 丘司<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪大学大学院 生命機能研究科/医学系研究科 幹細胞・免疫発生教室,

<sup>2</sup>京都大学 ウィルス・再生医科学研究所 統合生体プロセス分野

P1-5 一酸化窒素の新規下流シグナル分子 8-nitro-cGMP による骨代謝調節

金子児太郎<sup>1,2</sup>, 宮本 洋一<sup>1</sup>, 吉村健太郎<sup>1</sup>, 小川 隆<sup>2</sup>,  
赤池 孝章<sup>3</sup>, 近津 大地<sup>2</sup>, 上條竜太郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup>昭和大学歯学部口腔生化学講座, <sup>2</sup>東京医科歯科大学医学部口腔外科学分野,

<sup>3</sup>東北大学大学院医学系研究科医科学専攻社会医学講座環境保健医学分野

P1-6 QQ-MNC 移植は高頻度発現型マウス BRONJ 様病態を緩解させる

黒嶋伸一郎<sup>1</sup>, 佐々木宗輝<sup>1</sup>, 住田 吉慶<sup>2</sup>, 朝比奈 泉<sup>3</sup>,  
澤瀬 隆<sup>1</sup>

<sup>1</sup>長崎大学生命医科学域口腔インプラント学分野,

<sup>2</sup>長崎大学生命医科学域硬組織疾患基盤研究センター,

<sup>3</sup>長崎大学生命医科学域顎口腔再生外科学分野

P1-7 BMP-2 誘導異所性骨形成モデルによる骨組織再生の生体内イメージング

橋本 国彦<sup>1,2</sup>, 海渡 貴司<sup>1</sup>, 古家 雅之<sup>3</sup>, 濑尾 茂人<sup>4</sup>,  
菊田 順一<sup>2</sup>, 松田 秀雄<sup>4</sup>, 吉川 秀樹<sup>1</sup>, 石井 優<sup>2</sup>

<sup>1</sup>大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学(整形外科),

<sup>2</sup>大阪大学大学院医学系研究科 免疫細胞生物学,

<sup>3</sup>独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 整形外科,

<sup>4</sup>大阪大学大学院情報科学研究科 バイオ情報工学専攻

P1-8 抗ヒトポドラニンモノクローナル抗体パネルを用いた炎症性滑膜組織の免疫組織学的検討

鈴木 智人, 高窪 祐弥, 大木 弘治, 本間 龍介, 劉 興,  
高木 理彰  
山形大学医学部整形外科学講座

P1-9 IL-6 は STAT3 依存性に RUNX2 プロモーター領域のヒストン修飾を介して血管石灰化を誘導する

黒住 旭, 中野 和久, 山形 薫, 岡田 洋右, 中山田真吾,  
田中 良哉  
産業医科大学第一内科

ポスター 2

18:10-19:40

免疫系・免疫担当細胞 1

座長：中野 和久 産業医科大学医学部第1内科学講座

P2-1 B 細胞分化におけるグルタミノリシスの関与とメトホルミンによる新規治療への応用

元 舞子<sup>1</sup>, 岩田 慶<sup>1</sup>, 張 明増<sup>1</sup>, 鳥越 雅隆<sup>2</sup>,  
中山田真吾<sup>1</sup>, 阪田 圭<sup>3</sup>, 岡田 洋右<sup>1</sup>, 田中 良哉<sup>1</sup>

<sup>1</sup>産業医科大学 第一内科学講座, <sup>2</sup>大分大学内分泌・膠原病・腎臓内科学講座,

<sup>3</sup>田辺三菱製薬株式会社

P2-2 IFN- $\gamma$ -T-bet を介した CD4 陽性 T 細胞代謝変容と SLE 病態への関与

岩田 慶<sup>1</sup>, 張 明増<sup>1</sup>, 元 舞子<sup>1</sup>, 阪田 圭<sup>1,2</sup>,  
大久保直紀<sup>1</sup>, 中山田真吾<sup>1</sup>, 田中 良哉<sup>1</sup>

<sup>1</sup>産業医科大学第一内科学講座, <sup>2</sup>田辺三菱

**P2-3 Sema6D prevents excess inflammation during high-fat feeding by controlling mitochondrial metabolism.**

中西 由光<sup>1</sup>, 姜 秀辰<sup>2</sup>, 熊ノ郷 淳<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学,

<sup>2</sup>大阪大学免疫学フロンティア研究センター免疫機能統御学

**P2-4 CD4 陽性 T 細胞特異的に高発現する T 細胞受容体 (TCR) シグナル抑制因子 UBASH3A は関節リウマチ (RA) において発現が低下する**

山形 薫<sup>1</sup>, 中山田真吾<sup>1</sup>, 宮川 一平<sup>1</sup>, 上村 美美<sup>1</sup>,  
岩田 慶<sup>1</sup>, 加藤 茂明<sup>2</sup>, 田中 良哉<sup>1</sup>

<sup>1</sup>産業医科大学医学部第1内科学講座, <sup>2</sup>いわき明星大学地域連携センター

**P2-5 MCP-1 と sSiglec9 はマクロファージの極性変化を介して骨再生を促進する**

加納 史也<sup>1</sup>, 山本 朗仁<sup>2</sup>, 石川 純<sup>1,3</sup>, 市村 典久<sup>1</sup>,  
日比 英晴<sup>1</sup>

<sup>1</sup>名古屋大学大学院医学系研究科 頭頸部・感覺器外科学講座 頸顎面外科学,

<sup>2</sup>徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔科学部門基礎歯学組織再生制御学分野,

<sup>3</sup>刈谷豊田総合病院 歯科口腔外科

**P2-6 RBM7 による ncRNA 分解を介した臓器線維化制御**

福島 清春<sup>1,2,3</sup>, 佐藤 荘<sup>2,3</sup>, 木田 博<sup>1</sup>, 熊ノ郷 淳<sup>1</sup>,  
審良 静男<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup>大阪大学 呼吸器・免疫内科,

<sup>2</sup>大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 自然免疫学研究室,

<sup>3</sup>大阪大学 微生物病研究所 自然免疫学分野

**ポスター3**

**18:10-19:40**

**免疫系・免疫担当細胞 2**

座長：寺島明日香 東京大学大学院 医学系研究科 骨免疫学寄付講座

**P3-1 腸内ウイルス叢のデータベース構築と新規腸内ウイルスの探索**

藤本 康介<sup>1,2</sup>, 井元 清哉<sup>3</sup>, 植松 智<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>千葉大学大学院医学研究院 粘膜免疫学,

<sup>2</sup>東京大学医科学研究所 国際粘膜ワクチン開発研究センター 自然免疫制御分野,

<sup>3</sup>東京大学医科学研究所 ヘルスインテリジェンスセンター 健康医療データサイエンス分野

**P3-2 NKT 細胞の初期分化に必須な制御因子の同定**

寺島明日香<sup>1</sup>, 井上真以亜<sup>2</sup>, 岡本 一男<sup>1</sup>, 古賀 貴子<sup>3</sup>,  
中島 友紀<sup>4</sup>

<sup>1</sup>東京大学大学院 医学系研究科 骨免疫学寄付講座,

<sup>2</sup>東京大学大学院 医学系研究科 免疫学, <sup>3</sup>昭和大学 歯学部 歯科薬理学講座,

<sup>4</sup>東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 分子情報伝達学

**P3-3 CD4 陽性 T 細胞における Klf1 を介した Egr2 非依存性 PD-L1 誘導機構**

照屋 周造<sup>1</sup>, 岡村 僚久<sup>1,2</sup>, 駒井 俊彦<sup>1</sup>, 井上真璃子<sup>1</sup>,  
山本 一彦<sup>3</sup>, 藤尾 圭志<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京大学大学院医学系研究科アレルギー・リウマチ内科,

<sup>2</sup>東京大学大学院医学系研究科免疫疾患機能ゲノム学講座,

<sup>3</sup>理化学研究所統合生命医科学研究センター

**P3-4 大規模全ゲノムシーケンス解析による日本人集団の適応進化の解明**

岡田 随象

大阪大学大学院医学系研究科

**P3-5 Toll-like receptors and immune-cells in rheumatoid synovial tissues treated by tocilizumab (TCZ)**

高窪 祐弥, 鈴木 智人, 大木 弘治, 根本 信仁, 鈴木 優太,  
長沼 靖, 佐々木 幹, 高木 理彰

山形大学医学部整形外科学講座

**ポスター 4**

**18:10-19:40**

**サイトカイン・成長因子・ホルモン**

座長：岡本 一男 東京大学大学院医学系研究科 骨免疫学寄付講座

**P4-1 新規未治療関節リウマチ患者 MRI で関節炎所見は血漿 IL-6、骨病変は IL-1 $\beta$ の変動に関連する**

近藤 泰<sup>1,2</sup>, 金子 祐子<sup>1</sup>, 山岡 邦宏<sup>1</sup>, 佐藤 慎二<sup>2</sup>,  
竹内 勤<sup>1</sup>

<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科,

<sup>2</sup>東海大学医学部附属病院 リウマチ内科

**P4-2 磁性制御型 liposome により標的指向化された relaxin2 (RLN2) は ラット正中口蓋縫合拡大と骨形成を促進する**

小林 起穂, 紙本 裕幸, 森山 啓司

東京医科歯科大学医歯学総合研究科顎顔面矯正学分野

**P4-3 NCP1 は SCF 複合体との結合を介して I $\kappa$ B $\alpha$ の分解を正に制御する**

田中 勇希<sup>1</sup>, 奥山 裕子<sup>2</sup>, Jing-Jing Jiang<sup>1</sup>, 上村 大輔<sup>1</sup>,  
太田 光俊<sup>1</sup>, 大木拓究人<sup>1</sup>, 石井 直人<sup>2</sup>, 热海 徹<sup>1</sup>,  
村上 正晃<sup>1</sup>

<sup>1</sup>北海道大学遺伝子病制御研究所, <sup>2</sup>東北大学大学院医学系研究科・免疫学分野

**P4-4 Escort1 による炎症性サイトカインの転写後調節**

内田雄太郎<sup>1</sup>, 千葉 朋希<sup>1</sup>, 矢野 雄暉<sup>1</sup>, 浅原 弘嗣<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>東京医科歯科大学 システム発生・再生医学分野, <sup>2</sup>The Scripps research Institute

P4-5 長鎖非コード RNA による炎症性サイトカインの発現制御

千葉 朋希, 浅原 弘嗣

東京医科歯科大学 システム発生・再生医学分野

P4-6 炎症回路制御遺伝子 Rbm10 は DNA メチル化酵素 Dnmt3b を調節することにより転写を制御する

上村 大輔, 田中 勇希, 大木拓究人, 村上 正晃

北海道大学遺伝子病制御研究所分子神経免疫学分野

ポスター5

18:10-19:40

骨粗鬆症、骨折骨粗鬆症、骨折

座長：齋藤 琢 東京大学大学院医学系研究科 整形外科学

P5-1 RA 患者での経口ビスフォスフォネート製剤 (BP) からのデノスマブ (DmAb) もしくはテリパラチド連日製剤 (TPTD) への切り替えが関節破壊に及ぼす影響についての検討

蛇名 耕介, 平尾 真, 吉川 秀樹

大阪大学大学院 医学系研究科 器官制御外科学 (整形外科)

P5-2 ケミカルライブラリーを用いた新規スクリーニング法による運動器疾患の治療薬探索

小野 岳人<sup>1,2</sup>, 傳田 良亮<sup>1,3</sup>, 権藤 理夢<sup>1,4</sup>, 河崎 万鈴<sup>1,4</sup>,  
木下 佑理<sup>1,4</sup>, 中島 友紀<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 分子情報伝達学,

<sup>2</sup>日本医療研究開発機構 AMED-CREST, <sup>3</sup>東京慈恵会医科大学 整形外科学講座,

<sup>4</sup>東京医科歯科大学 歯学部 歯学科

P5-3 パーキンソン病における骨代謝制御の解析

飯田 和章<sup>1,2,3</sup>, 清原 秀一<sup>1</sup>, 山川 智之<sup>1,2,3</sup>, 坂井 信裕<sup>1</sup>,  
唐川亜希子<sup>1</sup>, 木内 祐二<sup>3</sup>, 稲垣 克記<sup>2</sup>, 古賀 貴子<sup>1</sup>,  
高見 正道<sup>1</sup>

<sup>1</sup>昭和大学 歯学部 歯科薬理学講座, <sup>2</sup>昭和大学 医学部 整形外科学講座,

<sup>3</sup>昭和大学 医学部 薬理学講座 医科薬理学部門

P5-4 骨損傷修復モデル動物に対するパーキンソン病治療薬の作用

清原 秀一<sup>1,2</sup>, 飯田 和章<sup>1,3,4</sup>, 山川 智之<sup>1,3,4</sup>, 坂井 信裕<sup>1</sup>,  
尾関 雅彦<sup>2</sup>, 古賀 貴子<sup>1</sup>, 高見 正道<sup>1</sup>

<sup>1</sup>昭和大学歯学部歯科薬理学講座, <sup>2</sup>昭和大学歯学部インプラント歯科学講座,

<sup>3</sup>昭和大学医学部整形外科学講座, <sup>4</sup>昭和大学医学部薬理学講座医科薬理学部門

P5-5 エストロゲン応答遺伝子 *Ebag9* 欠損マウスにおける骨量減少

東 浩太郎<sup>1</sup>, 柴 祥子<sup>2</sup>, 池田 和博<sup>2</sup>, 佐藤 航<sup>2</sup>,  
堀江公仁子<sup>2</sup>, 田中 伸哉<sup>3</sup>, 井上 聰<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>東京都健康長寿医療センター研究所 老化制御研究チーム,

<sup>2</sup>埼玉医科大学 ゲノム医学研究センター 遺伝子情報制御部門,

<sup>3</sup>埼玉医科大学 整形外科

ポスター6

18:10-19:40

歯科、多臓器連関、神経疾患、血液疾患、内分泌疾患

座長：浅原 弘嗣 東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 医学部 システム発生・再生医学分野

P6-1 バセドウ病患者における治療前後の末梢血リンパ球フェノタイプの解析

鳥本 桂一, 岡田 洋右, 中山田真吾, 久保 智史, 宮崎 佑介,  
黒住 旭, 成澤 学, 田中 良哉  
産業医科大学第一内科学講座

P6-2 神経切断による麻痺と免荷の骨髄腫の進展への影響

谷本幸多朗<sup>1,2</sup>, 日浅 雅博<sup>1,2</sup>, 天真 寛文<sup>1,2</sup>, 寺町 順平<sup>3</sup>,  
小田明日香<sup>2</sup>, Ashtar Mohannad<sup>1,2</sup>, Bat-Erdene Ariunzaya<sup>2</sup>,  
岩佐 昌美<sup>2</sup>, 曾我部公子<sup>2</sup>, 大浦 雅弘<sup>2</sup>, 原田 武志<sup>2</sup>,  
中村 信元<sup>2</sup>, 三木 浩和<sup>4</sup>, 遠藤 逸朗<sup>2</sup>, 田中 栄二<sup>1</sup>,  
松本 俊夫<sup>5</sup>, 安倍 正博<sup>2</sup>

<sup>1</sup>徳島大学 口腔顎面学矯正学分野, <sup>2</sup>徳島大学 血液・内分泌代謝内科学分野,

<sup>3</sup>徳島大学 組織再生制御学, <sup>4</sup>徳島大学 輸血・細胞治療部,

<sup>5</sup>徳島大学 藤井節郎記念医科学センター

P6-3 RIPK 3 は AKT-ACL 経路を介して腎臓の線維化を促進する

今村 充<sup>1,2</sup>, Jong-Seok Moon<sup>2</sup>, Kuei-Pin Chung<sup>2</sup>, 中平 肇一<sup>2</sup>,  
Thangamani Muthukumar<sup>2</sup>, Roman Shingarev<sup>3</sup>, Stefan Ryter<sup>2</sup>,  
Augustine Choi<sup>2</sup>, Mary Choi<sup>2</sup>

<sup>1</sup>聖マリアンナ医科大学リウマチ膠原病アレルギー内科,

<sup>2</sup>Weill Department of Medicine, Weill Cornell Medical College,

<sup>3</sup>Department of Medicine, Memorial Sloan Kettering Cancer Center

P6-4 規則的な繰り返し荷重がインプラント周囲の骨関連細胞とコラーゲンの配向性に与える影響

右藤 友督<sup>1</sup>, 黒嶋伸一郎<sup>1</sup>, 石本 卓也<sup>2</sup>, 中野 貴由<sup>2</sup>,  
澤瀬 隆<sup>1</sup>

<sup>1</sup>長崎大学生命医科学域(歯学系)口腔インプラント学分野,

<sup>2</sup>大阪大学大学院工学研究科マテリアル生産科学専攻生体材料学領域

**P6-5 卵巣摘出による骨粗鬆症モデルマウスでは抜歯窩の治癒が遅延し、  
顎堤吸収が長期間継続する**

久本 芽璃<sup>1</sup>, 木村 俊介<sup>2</sup>, 小林 純子<sup>2</sup>, 岩田 航<sup>1</sup>,  
岩永 敏彦<sup>2</sup>, 横山 敦郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup>北海道大学大学院歯学研究院 口腔機能学講座 口腔機能補綴学教室,

<sup>2</sup>北海道大学大学院医学研究院 解剖学分野 紡織細胞学教室

**P6-6 修復象牙質形成に対する象牙芽細胞死の重要性**

趙 麗娟<sup>1</sup>, 荒井 敦<sup>2</sup>, 宇田川信之<sup>3</sup>, 堀部 寛治<sup>4</sup>,  
小林 泰浩<sup>1</sup>, 高橋 直之<sup>1</sup>, 李 憲起<sup>5</sup>, 各務 秀明<sup>5</sup>,  
溝口 利英<sup>6</sup>

<sup>1</sup>松本歯科大学 総合歯科医学研究所, <sup>2</sup>松本歯科大学 歯科矯正学講座,

<sup>3</sup>松本歯科大学 口腔生化学講座, <sup>4</sup>松本歯科大学 口腔解剖学講座,

<sup>5</sup>松本歯科大学 口腔顎顔面外科学講座, <sup>6</sup>東京歯科大学 口腔科学研究センター

**P6-7 移植片由来 T 細胞の慢性 GVHD 病態形成における意義についての検討**

七野 成之<sup>1</sup>, 小杉 瑞葉<sup>2</sup>, 上羽 悟史<sup>1</sup>, 森川 鉄平<sup>3</sup>,  
豊嶋 崇徳<sup>2</sup>, 松島 綱治<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京理科大学生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門,

<sup>2</sup>北海道大学 血液内科学分野, <sup>3</sup>東京大学大学院医学系研究科 人体病理学分野

**P6-8 ムコ多糖症 II 型モデルマウスの骨病変に対する造血幹細胞を標的  
とした遺伝子治療の検討**

和田 美穂<sup>1</sup>, 嶋田 洋太<sup>2</sup>, 樋口 孝<sup>2</sup>, 前田 和洋<sup>3</sup>,  
齋藤 充<sup>3</sup>, 丸毛 啓史<sup>3</sup>, 井田 博幸<sup>1</sup>, 大橋 十也<sup>2</sup>,  
小林 博司<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学小児科学講座,

<sup>2</sup>東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター遺伝子治療研究部,

<sup>3</sup>東京慈恵会医科大学整形外科学講座

**ポスター7**

**18:10-19:40**

**がん免疫、抗体医薬・タンパク質医薬、分子標的創薬**

座長：菊田 順一 大阪大学 大学院医学系研究科 免疫細胞生物学

**P7-1 BMP 受容体 ALK2 に対する特異的阻害抗体の解析**

片桐 岳信<sup>1</sup>, 達 真之介<sup>2</sup>, 塚本 翔<sup>1</sup>, 倉谷 麻衣<sup>1</sup>,  
大手 聰<sup>1</sup>, 高石 巨澄<sup>2</sup>, 中村 健介<sup>3</sup>, 川口 喜朗<sup>3</sup>,  
長谷川 淳<sup>3</sup>

<sup>1</sup>埼玉医科大学ゲノム医学研究センター,

<sup>2</sup>第一三共株式会社 研究開発本部 希少疾患ラボラトリ一,

<sup>3</sup>第一三共株式会社 バイオロジクス本部 モダリティ研究所

P7-2 生体骨イメージングによる生物学的製剤の *in vivo* 作用機序の解明

菊田 順一<sup>1</sup>, 松浦 良信<sup>2</sup>, 平野 亨<sup>2</sup>, 熊ノ郷 淳<sup>2</sup>,  
石井 優<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪大学 大学院医学系研究科 免疫細胞生物学

<sup>2</sup>大阪大学 大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学

P7-3 生体骨髄イメージングを用いた骨髄内の白血病細胞に対する免疫応答の動的解析

山下英里華, 水野 紘樹, 石井 優  
大阪大学 生命機能研究科 免疫細胞生物学教室

P7-4 全血を用いた抗 PD-1 抗体の薬物動態モニタリングとその臨床応用

長 彰翁, 内藤祐二朗, 小山 正平, 熊ノ郷 淳  
大阪大学 大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学

## プログラム

### 第2日目 6月25日（月）

#### モーニングセミナー 1

9:00-10:00

座長：上阪 等 医療法人社団 桐和会

MS1 ビスホスホネートの多彩な作用：作用機序と臨床疫学からみた可能性  
竹内 靖博

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 内分泌代謝科

共催：帝人ファーマ株式会社

#### シンポジウム 1

10:10-11:25

治療に迫る「骨免疫」研究

座長：高柳 広 東京大学大学院医学系研究科 免疫学  
竹内 勤 慶應義塾大学医学部リウマチ・膠原病内科

S1-1 iPS 細胞を活用した難治性疾患に対する創薬

戸口田淳也<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>京都大学ウイルス・再生医科学研究所, <sup>2</sup>京都大学iPS細胞研究所

S1-2 Malaria and Vitamin D

Cevayir Coban, Michelle SJ Lee

Laboratory of Malaria Immunology, IFReC, Osaka University

S1-3 RANKL 阻害による自己免疫疾患及びがん治療の展望

岡本 一男

東京大学大学院医学系研究科 骨免疫学寄付講座

#### 特別講演 2

11:30-12:30

座長：山本 一彦 理化学研究所 生命医科学研究センター

SL2 The role of RANKL in breast and lung cancer

Josef Penninger

IMBA, Institute of Molecular Biotechnology of the Austrian Academy of Sciences,  
Vienna, Austria.

共催：第一三共株式会社

## ランチョンセミナー 2

12:40-13:40

座長：石井 優 大阪大学大学院医学系研究科 免疫細胞生物学

### LS2 骨免疫疾患の治療に新風を吹き込む

田中 栄

東京大学大学院医学系研究科 整形外科学

共催：あゆみ製薬株式会社

## 受賞講演 1

13:50-14:40

座長：田中 栄 東京大学大学院医学系研究科 整形外科学

### ST-1 破骨細胞分化と骨芽細胞分化を正に制御し骨代謝回転を決定づける新規因子の同定

林 幹人<sup>1</sup>, 中島 友紀<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>東京医科歯科大学, <sup>2</sup>日本医療研究開発機構 AMED-CREST

### ST-2 CTLA4-Ig による破骨細胞直接抑制機序の基礎検討および臨床効果の検証

岡田 寛之<sup>1</sup>, 鎌治屋 浩<sup>2</sup>, 道端 伸明<sup>3</sup>, 松本 卓巳<sup>1</sup>,  
廣瀬 匂<sup>1</sup>, 康永 秀生<sup>3</sup>, 岡部 幸司<sup>2</sup>, 宮本 健史<sup>4</sup>,  
田中 栄<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京大学 整形外科, <sup>2</sup>福岡歯科大学 細胞分子生物学・細胞生理学,

<sup>3</sup>東京大学 臨床疫学・経済学, <sup>4</sup>慶應義塾大学 整形外科

### ST-3 破骨細胞に高発現する未同定遺伝子の解析

山川 智之<sup>1,2,3</sup>, 清原 秀一<sup>1</sup>, 飯田 和章<sup>1,2,3</sup>, 岡松 伸明<sup>1,2,3</sup>,  
坂井 信裕<sup>1</sup>, 稲垣 克記<sup>2</sup>, 木内 祐二<sup>3</sup>, 古賀 貴子<sup>1</sup>,  
高見 正道<sup>1</sup>

<sup>1</sup>昭和大学歯学部歯科薬理学講座, <sup>2</sup>昭和大学医学部整形外科学講座,

<sup>3</sup>昭和大学薬理学講座医科薬理学部門

### ST-4 抑制型 C 型レクチン受容体 (DCIR) による破骨細胞制御機構

海部 知則<sup>1</sup>, 矢部 力朗<sup>2</sup>, 岩倉洋一郎<sup>3</sup>

<sup>1</sup>東北医科大学・医学部, <sup>2</sup>千葉大学・真菌センター,

<sup>3</sup>東京理科大学生命医科学研究所

### ST-5 破骨細胞分化と免疫組織形成における可溶型 RANKL の生理的意義

浅野 達雄<sup>1</sup>, 岡本 一男<sup>2</sup>, 中井 雄太<sup>1</sup>, 堤 雅紀<sup>1</sup>,  
末松 綾子<sup>1</sup>, 岡村 匡史<sup>3</sup>, 新田 剛<sup>1</sup>, 高柳 広<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京大学大学院医学系研究科 免疫学,

<sup>2</sup>東京大学大学院医学系研究科 骨免疫学寄付講座,

<sup>3</sup>国立国際医療研究センター研究所 感染症制御研究部 ヒト型動物開発研究室

## イブニングセミナー 2

14:50-15:50

座長：井田 博幸 東京慈恵会医科大学 小児科学講座

### ES2 免疫系による骨の破壊～ゴーシェ病の骨病変を含めて～

高柳 広

東京大学大学院医学系研究科 免疫学

共催：サノフィ株式会社

## ポスター 8

16:00-17:30

### 破骨細胞 1

座長：小林 泰浩 松本歯科大学 総合歯科医学研究所 硬組織機能解析学

#### P8-1 内因性抗炎症 Del-1 分子誘導による炎症性骨破壊の新規治療戦略

前川 知樹<sup>1</sup>, 小林 泰浩<sup>2</sup>, 土門 久哲<sup>1,3</sup>, 田村 光<sup>1,3</sup>,  
寺尾 豊<sup>1,3</sup>, 前田 健康<sup>1</sup>

<sup>1</sup>新潟大学医歯学総合研究科 高度口腔機能教育研究センター,

<sup>2</sup>松本歯科大学硬組織疾患制御再建学講座 硬組織機能解析学,

<sup>3</sup>新潟大学医歯学総合研究科 微生物感染症学分野

#### P8-2 破骨細胞において PLEKHM1-DEF8-RAB7 複合体はライソゾームの分泌と骨代謝を制御する

藤原 稔史<sup>1,2</sup>, Shiqiao Ye<sup>2</sup>, 松本 嘉寛<sup>1</sup>, 中島 康晴<sup>1</sup>,  
Haibo Zhao<sup>2</sup>

<sup>1</sup>九州大学病院整形外科, <sup>2</sup>University of Arkansas for Medical Sciences

#### P8-3 AhR は RANK/c-Fos シグナル伝達経路を介して破骨細胞の分化を制御する

井澤 俊, 田中 栄二

徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔顎顔面矯正学分野

#### P8-4 破骨細胞の分化・機能に対する JAK 阻害薬の影響

重原 光那, 太田裕一朗, 池田 由美, 吉本 桂子, 山岡 邦宏,  
竹内 勤

慶應義塾大学医学部リウマチ・膠原病内科

#### P8-5 関節リウマチ患者骨組織における破骨細胞様細胞 (osteoclast-like cells ; OLCs) の同定

横田 和浩<sup>1</sup>, 田中 伸哉<sup>2</sup>, 関川三四子<sup>2</sup>, 相崎 良美<sup>1</sup>,  
佐藤浩二郎<sup>1</sup>, 織田 弘美<sup>2</sup>, 三村 俊英<sup>1</sup>

<sup>1</sup>埼玉医科大学リウマチ膠原病科, <sup>2</sup>埼玉医科大学整形外科

**P8-6 カルシウム振動の fine tuning が ITAM レセプターアクションで行われ、RANKL 誘発性破骨細胞分化を制御する**

岡田 寛之<sup>1</sup>, 鎌治屋 浩<sup>2</sup>, 廣瀬 旬<sup>1</sup>, 松本 卓巳<sup>1</sup>,  
岡部 幸司<sup>2</sup>, 宮本 健史<sup>3</sup>, 田中 栄<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京大学 整形外科, <sup>2</sup>福岡歯科大学 細胞分子生物学分野 細胞生理学,

<sup>3</sup>慶應義塾大学 整形外科

**P8-7 骨破壊性 T 細胞による生体防御**

塚崎 雅之<sup>1</sup>, 小松 紀子<sup>1</sup>, Pluemsakunthai Warunee<sup>1</sup>,  
中島 友紀<sup>2</sup>, 高柳 広<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京大学大学院医学系研究科免疫学,

<sup>2</sup>東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 分子情報伝達学

**P8-8 禁煙により骨形成は回復し、可溶型 IL-33 受容体 ST2 は増加する**

渡部 玲子, 田井 宣之, 平野 順子, 伴 良行, 岡崎 亮,  
井上 大輔

帝京大学ちば総合医療センター第三内科

**ポスター9**

**16:00-17:30**

**破骨細胞2**

座長：小松 紀子 東京大学大学院医学系研究科 免疫学

**P9-1 二光子励起寿命イメージングを用いた破骨細胞内酸素分圧の絶対定量解析**

西川 恵三<sup>1</sup>, 檜崎 綾子<sup>1</sup>, 吉原 利忠<sup>2</sup>, 坂口 恵子<sup>3</sup>,  
飛田 成史<sup>2</sup>, 森 泰生<sup>3</sup>, 石井 優<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪大学, <sup>2</sup>群馬大学, <sup>3</sup>京都大学

**P9-2 Pkn3 阻害剤による破骨細胞の骨吸収抑制**

上原 俊介<sup>1</sup>, 山下 照仁<sup>2</sup>, 小出 雅則<sup>2</sup>, 村上 康平<sup>1</sup>,  
中村 貴<sup>3</sup>, 加藤 茂明<sup>4,5</sup>, 宇田川信之<sup>1</sup>, 高橋 直之<sup>2</sup>,  
小林 泰浩<sup>2</sup>

<sup>1</sup>松本歯科大学 口腔生化学講座, <sup>2</sup>松本歯科大学 総合歯科医学研究所,

<sup>3</sup>東京歯科大学 生化学講座,

<sup>4</sup>公益財団法人ときわ会 常磐病院 先端医学研究センター,

<sup>5</sup>いわき明星大学 地域連携センター

**P9-3 RA の骨破壊における TGFβの役割に関する基礎的検討**

徳永 忠浩, 河野 紘輝, 湯川 和俊, 倉信 達臣, 大井 勝博,  
吉田 雄介, 平田信太郎, 野島 崇樹, 杉山 英二  
広島大学病院リウマチ・膠原病科

P9-4 終末糖化産物 AGE-3 は IL-10 発現誘導を介して RANK 発現を抑制  
しヒト破骨細胞分化を負に制御する

田中 健一, 山形 薫, 久保 智史, 中山田真吾, 岡田 洋右,

田中 良哉

産業医科大学第1内科

P9-5 TAK1 による破骨細胞に対する TRAIL の生存・細胞死シグナル制御機構

天真 寛文<sup>1,2</sup>, 寺町 順平<sup>2,3</sup>, 日浅 雅博<sup>1,2</sup>, 小田明日香<sup>2</sup>,

谷本幸多朗<sup>1,2</sup>, Ashtar Mohannad<sup>1,2</sup>, Bat Erdene Ariunzaya<sup>2</sup>,

岩佐 昌美<sup>2</sup>, 原田 武志<sup>2</sup>, 中村 信元<sup>2</sup>, 三木 浩和<sup>2</sup>,

遠藤 逸朗<sup>2</sup>, 田中 栄二<sup>1</sup>, 松本 俊夫<sup>4</sup>, 安倍 正博<sup>2</sup>

<sup>1</sup>徳島大学大学院 口腔顎面矯正学, <sup>2</sup>徳島大学大学院 血液・内分泌代謝内科学,

<sup>3</sup>徳島大学大学院 紹介再生制御学, <sup>4</sup>徳島大学 藤井節郎記念医科学センター

P9-6  $\alpha$ -cyano-4-hydroxycinnamic acid は破骨細胞の骨吸収を抑制する

今井 裕子<sup>1,2</sup>, 吉村健太郎<sup>1</sup>, 宮本 洋一<sup>1</sup>, 山田 篤<sup>1</sup>,

笛 清人<sup>1</sup>, 茶谷 昌宏<sup>3</sup>, 高見 正道<sup>3</sup>, 山本 松男<sup>2</sup>,

上條竜太郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup>昭和大学歯学部口腔生化学講座, <sup>2</sup>昭和大学歯学部歯周病学講座,

<sup>3</sup>昭和大学歯学部歯科薬理学講座

P9-7 細胞死阻害剤ネクロスタチン7 を用いた破骨細胞制御ターゲットの解析

朝霧 成拳<sup>1,2</sup>, 藤 浩明<sup>2</sup>, 大前 沙織<sup>2</sup>, 野間 成人<sup>2</sup>,

竹入 雅敏<sup>2</sup>, 安富 栄人<sup>1</sup>, 泉 和弥<sup>1</sup>, 武田 憲彦<sup>3</sup>,

瀬尾 智<sup>2</sup>, 祝迫 恵子<sup>2,4</sup>, 上本 伸二<sup>2</sup>

<sup>1</sup>名古屋市立大学大学院薬学研究科, <sup>2</sup>京都大学大学院医学研究科,

<sup>3</sup>東京大学大学院医学系研究科, <sup>4</sup>同志社大学生命医科学部

ポスター 10

16:00-17:30

自己免疫疾患・リウマチ性疾患 1

座長：山岡 邦宏 慶應義塾大学医学部内科学教室 リウマチ膠原病内科

P10-1 高齢発症の関節リウマチは薬剤の良好な反応性にも関わらず骨破壊の危険因子である

村田 浩一<sup>1,2</sup>, 伊藤 宣<sup>2</sup>, 橋本 求<sup>1</sup>, 田中 真生<sup>1</sup>,

西谷 江平<sup>1,2</sup>, 村上 孝作<sup>3</sup>, 三森 経世<sup>3</sup>, 松田 秀一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>京都大学医学部リウマチセンター, <sup>2</sup>京都大学医学部整形外科,

<sup>3</sup>京都大学免疫膠原病内科

**P10-2 関節リウマチ滑膜において TNF は能動的脱メチル化酵素 Ten-eleven translocation (TET) 3 依存性に関節破壊を促進する**

河邊 明男<sup>1</sup>, 中野 和久<sup>1</sup>, 山形 薫<sup>1</sup>, 阪田 圭<sup>1,2</sup>,  
中山田真吾<sup>1</sup>, 田中 良哉<sup>1</sup>

<sup>1</sup>産業医科大学医学部第一内科学講座, <sup>2</sup>田辺三菱製薬株式会社

**P10-3 関節リウマチ患者糞便由来の *Prevotella copri* 菌の解析**

前田 悠一<sup>1</sup>, 熊ノ郷 淳<sup>1</sup>, 竹田 潔<sup>2</sup>

<sup>1</sup>大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学,

<sup>2</sup>大阪大学大学院医学系研究科 免疫制御学

**P10-4 セルトリズマブペゴルの即効性に関するバイオマーカーを用いた評価 (TSUBAME study : UMIN000022831) : FIRST registry より**

宮崎 佑介, 中野 和久, 久保 智史, 中山田真吾, 岩田 慶,  
花見健太郎, 福興 俊介, 宮川 一平, 河邊 明男, 田中 良哉  
産業医科大学医学部第1内科学講座

**P10-5 関節リウマチ患者の末梢血 CD4<sup>+</sup>T 細胞で同定された疾患活動性と相関する遺伝子群とアバタセプトの影響**

住友 秀次<sup>1</sup>, 永渕 泰雄<sup>1</sup>, 土田 優美<sup>1</sup>, 土屋 遥香<sup>1</sup>,  
太田 峰人<sup>1</sup>, 石垣 和慶<sup>2</sup>, 神田 浩子<sup>1,3</sup>, 立石 晶子<sup>1,3</sup>,  
鈴木亜香里<sup>4</sup>, 高地 雄太<sup>4</sup>, 藤尾 圭志<sup>1</sup>, 山本 一彦<sup>5</sup>

<sup>1</sup>東京大学大学院医学系研究科 アレルギー・リウマチ内科,

<sup>2</sup>理化学研究所 統合生命医科学研究センター 統計解析研究チーム,

<sup>3</sup>東京大学大学院医学系研究科 免疫療法管理学講座,

<sup>4</sup>理化学研究所 統合生命医科学研究センター 自己免疫疾患研究チーム,

<sup>5</sup>理化学研究所 統合生命医科学研究センター

**P10-6 高齢発症関節リウマチの大小関節優位性と抗 CCP 抗体について  
一関節指數ベクトルと Ninja2016 データベースを用いた解析**

沢田 哲治<sup>1</sup>, 加藤 英里<sup>1</sup>, 西山 進<sup>2</sup>, 西野 仁樹<sup>3</sup>,  
松井 利浩<sup>4</sup>, 當間 重人<sup>5</sup>

<sup>1</sup>東京医科大学病院, <sup>2</sup>倉敷成人病センター, <sup>3</sup>東京大学, <sup>4</sup>国立病院機構相模原病院,

<sup>5</sup>国立病院機構東京病院

**P10-7 関節炎モデルマウスにおける炎症性破骨細胞の由来の同定**

長谷川哲雄<sup>1,2</sup>, 菊田 順一<sup>2</sup>, 石井 優<sup>2</sup>

<sup>1</sup>慶應義塾大学医学部リウマチ膠原病内科,

<sup>2</sup>大阪大学大学院医学系研究科免疫細胞生物学教室

**P10-8 RANKL を発現する滑膜線維芽細胞の関節炎の骨破壊における意義**

小松 紀子<sup>1</sup>, Lynett Danks<sup>1</sup>, 中島 友紀<sup>2</sup>, 高柳 広<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京大学大学院 医学系研究科 免疫学,

<sup>2</sup>東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 分子情報伝達学

**自己免疫疾患・リウマチ性疾患 2**

座長：西出 真之 大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学

**P11-1 関節リウマチ患者（RA）におけるTNF阻害剤アドリムマブとJAK阻害剤トファシチニブの骨代謝への影響の比較**

福興 俊介，中野 和久，中山田真吾，岩田 慶，久保 智史，  
宮川 一平，宮崎 祐介，河邊 明男，岡田 洋右，斎藤 和義，  
田中 良哉  
産業医科大学

**P11-2 関節リウマチにおける関節破壊進行の予測因子としてのLRGの有用性**

吉田亜希子<sup>1</sup>，村上 孝作<sup>1</sup>，藤本 穂穂<sup>3</sup>，橋本 求<sup>2</sup>，  
田中 真生<sup>2</sup>，中嶋 蘭<sup>1</sup>，吉藤 元<sup>1</sup>，大村浩一郎<sup>1</sup>，  
仲 哲治<sup>3</sup>，三森 経世<sup>1</sup>

<sup>1</sup>京都大学附属病院 免疫・膠原病内科，<sup>2</sup>同病院 リウマチセンター，

<sup>3</sup>高知大学医学部付属病院 免疫難病センター

**P11-3 関節リウマチにおいて関節超音波所見は肘関節の症状にどの程度影響するか**

伊藤 宣<sup>1</sup>，富澤 琢也<sup>1</sup>，村田 浩一<sup>1,2</sup>，西谷 江平<sup>1,2</sup>，  
橋本 求<sup>2</sup>，田中 真生<sup>2</sup>，三森 経世<sup>3</sup>，松田 秀一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>京都大学大学院医学研究科整形外科，

<sup>2</sup>京都大学大学院医学研究科リウマチ性疾患先進医療学，

<sup>3</sup>京都大学大学院医学研究科臨床免疫学

**P11-4 RA滑膜線維芽細胞のin vitro軟骨分化能は亢進している。しかしMTXや生物製剤投与下ではその亢進がみられない**

土井翔太郎<sup>1</sup>，川端ちさと<sup>1</sup>，堀田 優子<sup>1</sup>，中山 哲<sup>1,2</sup>，  
河野 博隆<sup>1</sup>，西村 慶太<sup>1</sup>

<sup>1</sup>帝京大学整形外科，<sup>2</sup>脳神経疾患研究所付属総合南東北病院外傷センター

**P11-5 正常およびRA滑膜線維芽細胞を用いたin vitro軟骨分化アッセイ系におけるToll様受容体刺激と軟骨分化の関係：CpG-DNAによる軟骨分化亢進の機序**

中山 哲<sup>1,2</sup>，川端ちさと<sup>1</sup>，堀田 優子<sup>1</sup>，土井翔太郎<sup>1</sup>，  
河野 博隆<sup>1</sup>，西村 慶太<sup>1</sup>

<sup>1</sup>帝京大学整形外科，<sup>2</sup>脳神経疾患研究所付属総合南東北病院外傷センター

**P11-6 関節リウマチにおけるIL-33の機能解析**

入野 健佑，有信洋二郎，綾野 雅宏，三苦 弘喜，赤星 光輝，  
赤司 浩一，新納 宏昭  
九州大学大学院 病態修復内科

**P11-7 マイクロ RNA による変形性関節症の病態解明と医療応用**

浅原 弘嗣, 伊藤 義晃

東京医科歯科大学 医歯学総合研究科・医学部 システム発生・再生医学分野

**ポスター 12**

**16:00-17:30**

**自己免疫疾患・リウマチ性疾患 3**

座長：中山田真吾 産業医科大学医学部 第1内科学講座

**P12-1 末梢血免疫担当細胞のトランスクリプトーム解析を通じた炎症性筋疾患の病態解明**

杉森 祐介<sup>1</sup>, 岩崎由希子<sup>1</sup>, 竹島 雄介<sup>1,3</sup>, 白井 晴己<sup>1</sup>,  
大久保麻衣<sup>1</sup>, 小林 聖未<sup>1</sup>, 太田 峰人<sup>1,3</sup>, 永渕 泰雄<sup>1</sup>,  
住友 秀次<sup>1</sup>, 庄田 宏文<sup>1</sup>, 高地 雄太<sup>2</sup>, 岡村 僥久<sup>1,3</sup>,  
山本 一彦<sup>1,2</sup>, 藤尾 圭志<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京大学大学院医学系研究科 アレルギー・リウマチ内科,

<sup>2</sup>理化学研究所 統合生命医科学研究センター 自己免疫疾患研究チーム,

<sup>3</sup>東京大学大学院医学系研究科 免疫疾患機能ゲノム学講座

**P12-2 重度のビタミンD欠乏はグルココルチコイド(GC)大量療法を要する膠原病患者において大腿骨頭壊死(ANF)発症と相関する**

中野 和久, 井上 嘉乃, 中山田真吾, 岩田 慶, 福興 俊介,  
久保 智史, 宮川 一平, 岡田 洋右, 田中 良哉

産業医科大学第1内科学講座

**P12-3 Epigenetic regulation by IL-12/STAT1/STAT4 signal in Tfh-Th1 cell in SLE**

馬 曜雪<sup>1,2</sup>, 中山田真吾<sup>1</sup>, 久保 智史<sup>1</sup>, 阪田 圭<sup>1,3</sup>,  
山形 熏<sup>1,2</sup>, 宮崎 佑介<sup>1</sup>, 好川真以子<sup>1</sup>, 田中 良哉<sup>1</sup>

<sup>1</sup>産業医科大学医学部第1内科, <sup>2</sup>中国医科大学付属第1病院小児科,

<sup>3</sup>田辺三菱株式会社

**P12-4 乾癬性関節炎に対する生物学的製剤による層別化先制治療**

宮川 一平, 中山田真吾, 中野 和久, 久保 智史, 岩田 慶,  
宮崎 佑介, 河邊 明男, 吉成 紗子, 田中 良哉

産業医科大学第1内科学講座

**P12-5 ベーチェット病患者における末梢血単核球サブセットの FCM 解析  
および RNA-seq によるサブセット別遺伝子発現解析**

大久保麻衣<sup>1</sup>, 住友 秀次<sup>1</sup>, 太田 峰人<sup>1,2</sup>, 竹島 雄介<sup>1,2</sup>,  
柳岡 治先<sup>1</sup>, 白井 晴己<sup>1</sup>, 小林 聖未<sup>1</sup>, 杉森 祐介<sup>1</sup>,  
前田 淳子<sup>1</sup>, 波多野裕明<sup>1</sup>, 永渕 泰雄<sup>1</sup>, 岩崎由希子<sup>1</sup>,  
庄田 宏文<sup>1</sup>, 岡村 僚久<sup>1,2</sup>, 山本 一彦<sup>3</sup>, 藤尾 圭志<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京大学大学院医学系研究科 アレルギー・リウマチ内科,

<sup>2</sup>東京大学大学院医学系研究科 免疫疾患機能ゲノム学講座,

<sup>3</sup>理化学研究所 統合生命医科学研究センター

**P12-6 全身性強皮症の免疫細胞プロファイリングによる病態関連因子の探索**

小林 聖未<sup>1</sup>, 永渕 泰雄<sup>1</sup>, 庄田 宏文<sup>1</sup>, 大久保麻衣<sup>1</sup>,  
杉森 祐介<sup>1</sup>, 白井 晴己<sup>1</sup>, 波多野裕明<sup>1</sup>, 前田 淳子<sup>1</sup>,  
竹島 雄介<sup>1,2</sup>, 太田 峰人<sup>1,2</sup>, 岩崎由希子<sup>1</sup>, 住友 秀次<sup>1</sup>,  
岡村 僚久<sup>1,2</sup>, 山本 一彦<sup>1,3</sup>, 藤尾 圭志<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京大学大学院医学系研究科 アレルギー・リウマチ内科,

<sup>2</sup>東京大学大学院医学系研究科 免疫疾患機能ゲノム学講座,

<sup>3</sup>理化学研究所 統合生命医科学研究センター

**P12-7 全身性エリテマトーデス患者末梢血における免疫フェノタイプと病  
態への関与**

中山田真吾, 久保 智史, 宮崎 佑介, 吉成 紗子, 宮川 一平,  
河邊 明男, 福興 俊介, 岩田 慶, 中野 和久, 田中 良哉  
産業医科大学医学部第一内科学講座

**P12-8 好中球活性化制御分子を標的とした ANCA 関連血管炎の疾患特異  
的治療への挑戦**

西出 真之, 熊ノ郷 淳

大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学

**ポスター 13**

**16:00-17:30**

**自己免疫疾患・リウマチ性疾患 4**

座長：岡田 随象 大阪大学大学院医学系研究科 遺伝統計学

**P13-1 抗 RANKL 抗体は破骨細胞形成を促す IL-8 産生を亢進する**

森田 貴義<sup>1,2</sup>, 嶋 良仁<sup>3</sup>, 緒方 篤<sup>4</sup>, 熊ノ郷 淳<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫内科学,

<sup>2</sup>大阪大学免疫学フロンティア研究センター感染病態学,

<sup>3</sup>大阪大学大学院医学系研究科血管作動温熱治療学共同研究講座,

<sup>4</sup>NTT 西日本大阪病院アレルギー・リウマチ膠原病内科

**P13-2 SLE 患者血清由来の Membrane vesicles は STING を介して type-I IFN の産生を誘導する**

加藤 保宏, 朴 正薰, 小中 八郎, 高松 漂太, 熊ノ郷 淳  
大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫内科学

**P13-3 新たな機序で炎症・自己免疫疾患を抑制する薬剤とその標的 RNA の解析**

根岸 英雄<sup>1</sup>, 遠藤 信康<sup>1</sup>, 中島 由希<sup>1</sup>, 西山 達明<sup>2</sup>,  
西尾 純子<sup>1</sup>, 土肥 武<sup>2</sup>, 谷口 維紹<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京大学 生産技術研究所 炎症・免疫制御学社会連携研究部門,

<sup>2</sup>興和株式会社 東京創薬研究所

**P13-4 膝蓋下脂肪と皮下脂肪に存在するマクロファージの比較**

馬 舒荷<sup>1</sup>, 村上 孝作<sup>1</sup>, 橋本 求<sup>2</sup>, 村田 浩一<sup>2</sup>,  
西谷 浩平<sup>2</sup>, 伊藤 宣<sup>3</sup>, 三森 経世<sup>1</sup>

<sup>1</sup>京都大学大学院医学研究科臨床免疫学,

<sup>2</sup>京都大学大学院医学研究科リウマチ性疾患先進医療学,

<sup>3</sup>京都大学大学院医学研究科整形外科学

**P13-5 ループス病態形成における MAIT 細胞の解析**

村山 豪<sup>1</sup>, 千葉 麻子<sup>2</sup>, 野村 篤史<sup>2</sup>, 天野 浩文<sup>1</sup>,  
山路 健<sup>1</sup>, 田村 直人<sup>1</sup>, 三宅 幸子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>順天堂大学 膜原病内科学講座, <sup>2</sup>順天堂大学 免疫学教室

**P13-6 全身性エリテマトーデス症例の 12 誘導体表面心電図における Fragmented QRS と疾患活動性の関連**

細沼 雅弘<sup>1,2</sup>, 高見 正道<sup>1</sup>

<sup>1</sup>昭和大学薬理科学研究センター歯学部歯科薬理学講座,

<sup>2</sup>昭和大学病院リウマチ膜原病内科

**P13-7 ベーチェット病の病態生理の解明**

小中 八郎, 高松 漂太, 熊ノ郷 淳

大阪大学大学院医学系研究科呼吸器免疫内科講座

**P13-8 免疫細胞プロファイリングによる ANCA 関連血管炎の病態解明**

柳岡 治先<sup>1,2</sup>, 永渕 泰雄<sup>1</sup>, 竹島 雄介<sup>1,3</sup>, 太田 峰人<sup>1,3</sup>,  
白井 晴己<sup>1</sup>, 杉森 祐介<sup>1</sup>, 大久保麻衣<sup>1</sup>, 小林 聖未<sup>1</sup>,  
岩崎由希子<sup>1</sup>, 庄田 宏文<sup>1</sup>, 住友 秀次<sup>1</sup>, 岡村 僚久<sup>1,3</sup>,  
高地 雄太<sup>4</sup>, 山本 一彦<sup>4</sup>, 藤尾 圭志<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京大学大学院医学系研究科 アレルギー・リウマチ内科,

<sup>2</sup>聖路加国際病院 リウマチ膜原病センター,

<sup>3</sup>東京大学大学院医学系研究科 免疫疾患機能ゲノム学講座,

<sup>4</sup>理化学研究所統合生命医科学研究センター 自己免疫疾患研究チーム

## プログラム

### 第3日目 6月26日 (火)

総会 8:40-8:55

モーニングセミナー 2 9:00-10:00

座長：長澤 丘司 大阪大学大学院生命機能研究科/医学系研究科・医学部  
幹細胞・免疫発生研究室

MS2 骨粗鬆症の基礎と臨床  
宮本 健史  
慶應義塾大学医学部整形外科  
共催：アステラス製薬株式会社

シンポジウム 2 10:10-11:25

骨と関節の免疫学：治療の新展開に結びつけることができるか

座長：岡田 洋右 産業医科大学 第1内科学講座  
熊ノ郷 淳 大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学

S2-1 抗体療法の新たな広がり  
田中 栄  
東京大学医学部整形外科

S2-2 分子標的合成抗リウマチ薬による関節リウマチ治療  
山岡 邦宏  
慶應義塾大学医学部内科学教室 リウマチ膠原病内科

S2-3 骨免疫とセマフォリン～免疫代謝の話題も含めて～  
熊ノ郷 淳  
大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学

## ランチョンセミナー 3

11:40-12:40

座長：三森 経世 京都大学医学部附属病院 免疫・膠原病内科

### LS3 自己免疫疾患とサイトカインシグナル

藤尾 圭志

東京大学大学院医学系研究科内科学専攻 アレルギー・リウマチ学

共催：日本イーライリリー株式会社

## 受賞講演 2

12:50-13:40

座長：松本 俊夫 徳島大学藤井節郎記念医科学センター

### ST-6 Runx3 は関節軟骨に保護的に作用する

永田 向生, 張 成虎, 矢野 文子, 河田 学, 牧井 勇磨,  
田中 栄, 斎藤 琢  
東京大学整形外科

### ST-7 滑膜線維芽細胞による関節リウマチの炎症形成メカニズムに対する 遺伝免疫学的アプローチ

土屋 遥香<sup>1</sup>, 太田 峰人<sup>1</sup>, 住友 秀次<sup>1</sup>, 石垣 和慶<sup>2</sup>,  
鈴木亜香里<sup>2</sup>, 高地 雄太<sup>2</sup>, 土田 優美<sup>1</sup>, 庄田 宏文<sup>1</sup>,  
乾 洋<sup>3</sup>, 武富 修治<sup>3</sup>, 門野 夕峰<sup>4</sup>, 田中 栄<sup>3</sup>,  
山本 一彦<sup>2</sup>, 藤尾 圭志<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東京大学医学部 アレルギー・リウマチ内科,

<sup>2</sup>理化学研究所 統合生命医科学研究センター,

<sup>3</sup>東京大学医学部 整形外科・脊椎外科, <sup>4</sup>埼玉医科大学医学部 整形外科・脊椎外科

### ST-8 関節リウマチに対する生物学的製剤の全身性骨代謝への作用

久保 智史, 中山田真吾, 中野 和久, 岩田 慶, 花見健太郎,  
福興 俊介, 宮川 一平, 玉城泰太郎, 岡田 洋右, 田中 良哉  
産業医科大学 医学部 第一内科学講座

### ST-9 骨細胞の RANKL はエストロゲン欠乏時の骨量減少および骨髓内の B 細胞の増加に重要である

藤原 悠子<sup>1</sup>, Marilina Piemontese<sup>2</sup>, Yu Liu<sup>2</sup>, Jinhu Xiong<sup>2</sup>,  
中島 康晴<sup>3</sup>, Charles A O'Brien<sup>2</sup>

<sup>1</sup>原土井病院, <sup>2</sup>University of Arkansas for Medical Science, <sup>3</sup>九州大学整形外科

### ST-10 生体イメージングを駆使した交感神経による骨髓内細胞制御の時空 間的解析

栗生 智香, 菊田 順一, 石井 優  
大阪大学大学院医学系研究科免疫細胞生物学教室

**アフタヌーンセミナー** **13:40-14:40**

座長：山路 健 順天堂大学医学部附属順天堂医院 膜原病・リウマチ内科

AS 骨免疫におけるケモカインの役割と治療標的としての可能性

今井 俊夫

株式会社カン研究所

共催：エーザイ株式会社

**閉会式** **14:40-15:00**